

[定期巡回について]

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容は 4 種類あります。

- ・訪問介護計画書に基づいて定期的に訪問する**定期巡回サービス**。
- ・「コールボタン」を利用者宅に設置し、24 時間その連絡にその都度対応する**随時対応サービス**。
利用者の状況を確認し、必要に応じて訪問するといったサービスを手配します。
この時点の注意点としては、連絡したからとはいえ必ずしも訪問するという判断にならないという点です。
利用者の状況を確認し、普段と様子が違うなど訪問すべきと判断した時に訪問が行なわれます。
- ・コールで連絡を受け状況を判断し、必要と判断された時のみ介護職員等が随時利用者宅を訪問する**随時訪問サービス**。
- ・看護師が定期的に利用者宅を訪問し、診察の補助や心身のサポートなどを行う**訪問看護サービス**。

要介護認定 1～5 の方を対象としています。

1 日に複数回 1 回の訪問は 10 分～20 分程度

短時間の身体介護（排泄・服薬・水分補給・食事・安否確認）を中心に行います。

利用目的例として

- ・1 日数回の服薬管理が必要な場合。
- ・寝たきり状態の方で寝返り介助などの 1 日何度も介助が必要な場合。
- ・水分補給に声掛けなど支援が必要な場合。
- ・安否確認が必要な場合。
- ・一人で食事をするのが難しく、介助が必要とする場合。
- ・退院後自宅での生活が安定するまで見守りが必要な場合。
- ・家族の介護負担の軽減を図る為に利用する場合。

利用料は月額制になっており、要介護度によって金額が違います。

[利用状況報告]

R5 年 9 月現在
 介護 1→1 名
 介護 3→1 名

[サービス提供内容報告]

ケース① 介護 1

主な病名・・・脳梗塞 2 回

年齢性別・・・80 代 男性

生活状況・・・独居 1 日 2 回訪問 デイサービス 2 回利用

サービス内容・・・服薬 週 2 回買い物、週 1 回掃除

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------|--|---|--|--|--|--|--|
| サービス提供時間 | 30分 | 20分 | 60分 | 20分 | 30分 | 60分 | 20分 |
| 午前 | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 デイサービス準備 ゴミ出し エアコンタイマー | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 ティの靴から洗濯物を出してカゴへ入れる ティ連絡用紙確認 | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 コールボタン充電 買い物 洗濯、干し | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 デイサービス準備 エアコンタイマー | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 コールボタン充電 買い物 洗濯、干し (ティのカバンから洗濯物出す) ティ連絡用紙確認 | <ul style="list-style-type: none"> 服薬確認 水分補給 尿器処理 |
| サービス提供時間 | | 20分 | 20分 | 40分 | | 20分 | |
| 午後 | デイサービス | <ul style="list-style-type: none"> 水分補給 尿器処理 | <ul style="list-style-type: none"> 水分補給 尿器処理 | <ul style="list-style-type: none"> 水分補給 尿器処理 掃除 (掃除機・モップ・トイレ・台所シンク) | デイサービス | <ul style="list-style-type: none"> 水分補給 尿器処理 | |

定期巡回利用から 2 年が経ち、服薬が定期的に行えるようになり、体調は安定しているが、歩行状態が落ちてきていたり、視力の低下がみられてきています。転倒されないように気を付けてみえますが、ご自分での今日は危ないと思った時は、這って移動をされているようです。

パイプベッドを使用されており、手すりがなく高さの調節ができないため、自費になるが介護ベッドに変更するか検討中です。

以前は簡単な調理はされていましたが、台所で長い間立っているのが大変になってきたようで、配食のお弁当の提案もさせていただいていますが、好きな物を食べたいとご希望があり、ご本人様のお気持ちを尊重し現在は買い物の時にお惣菜を購入したり、訪問時簡単な調理のお手伝いで対応させていただいています。

以前は買い物の支援日に掃除を一緒に行っていましたが、買い物の聞き取りに少し時間がかかることや、お店の混み具合で掃除が出来ない時があり、ケアマネジャーに相談させていただき、ケアプランの変更別日に掃除の日を作る事により、ご本人様も焦らず買い物の依頼をする事ができるようになりました。

[コール回数]

週 3～4 回

[コール内容]

「今日何時に来るの?」「明日はデイサービス行く日」と確認のコールや、「お嫁さんに連絡してほしい」「次来た時にご飯を炊いてほしい」「してほしいことがあるけど、こんなことヘルパーさんに頼んでもいいかな?」と聞きたい事や、次の訪問時に伝えるのを忘れないためのコールが多い。

コールでの随時対応サービスのみで、随時訪問サービスはありませんでした。

他に、デイサービス帰宅後は必ずコールがあり「ただいま」と短い時間ではあるが連絡があり、コール対応が1つの安定に繋がっていると思います。

[今後の課題]

ガスコンロを使用しており、火の元が危なくなってくるので、電気系の家電(ポットや電気コンロ)にした方がいいのではないかと、家族様用意していただきましたが、今まで一度も使ったことがないため、ご本人様使いたくないと言われそのまま置いてある状態です。少しずつでも移行してもらえよう説明が必要になってきます。

ケース②介護 1→更新後介護 3

主な病名・・・胸椎椎体骨折

年齢性別・・・80代 女性

生活状況・・・ご主人と二人暮らし 1日3回訪問 デイサービス利用なし

サービス内容・・・トイレ誘導 入浴

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| サービス提供時間 | 20分 |
| 朝 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 |
| サービス提供時間 | 20分 | 20分 | 60分 | 20分 | 20分 | 60分 | 20分 |
| 昼 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 | トイレ誘導 入浴介助 水分補給 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 | トイレ誘導 入浴介助 水分補給 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 |
| サービス提供時間 | 20分 |
| 夕 | トイレ誘導 バット交換 水分補給 |

胸椎椎体骨折で入院されており、退院後下肢筋力低下。ご主人が一人で介護を行っていたが、床に座り込んでしまうとどうにもする事ができない。オムツ交換の拒否があり、数日に1回しか交換が出来ない。食事も起きてもらう事が難しく、寝たままで食事を摂るという状況で、ご主人も高齢（90代）のため負担が大きく定期巡回の依頼となる。

介入後はトイレ誘導、おむつ交換にも強い拒否があり手や足が出たり、きつい口調で話しをされたり、ご主人にも手を出されることがあった。

歩行ができないわけではないため、意欲がある時はヘルパー訪問時に拒否なくトイレに行くことができる。

介入当初、拒否の原因が分からず、何度も支援内容の見直しや、介入ヘルパー同士話し合いをしたりして検討しました。

そんな中ご主人との会話の中で、アルツハイマー型認知症であること、服薬もしているということが分かりました。

その旨ケアマネに報告させていただいたところ、やっぱりそうかというお返事でした。

ご主人にもヘルパー訪問時間以外の様子もお聞きし、ご自分でもトイレに行けるようになっており、ヘルパー訪問時とのタイミングでトイレに行ったばかりの時にトイレと声掛けをされると拒否が多く、そのような場合には次の訪問まで様子を見ることになり、拒否が減少しました。

歩行状態も少しずつ良くなり、デイサービスのお試しに行かれましたが、慣れない場所で興奮されデイサービス利用はなしになり、訪問リハビリの介入になる。ご主人、体調不良により入院されロングショート利用になりました。

[随時訪問回数]

月に 4～5 回ご主人よりコール

介入当初、定期の訪問時拒否があった時は、少し時間をおいて再度訪問、それでも拒否がありご主人がもう一度と言われれば再訪問。「今日は早朝から起きていたから寝かせておく」などのその時の本人の状況に合わせて、ご主人がもういいわと言われれば次の訪問まで様子を見る事にしていました。

[コール内容]

- ・ 排便多量でどうする事もできない。
- ・ 興奮して 2 階へ上がって行ってしまっても何度声掛けしても怒ってしまい降りてくることができない。

[今後の課題]

病歴、服薬ということを事前にきちんとしっかりアセスメントを取る必要がありました。

ケアマネージャーとの打ち合わせの時は、認知症ではない、セカンドピニオンを勧めていると言う説明だったので、こちらも事前にきちんと把握できてない部分があった。

事業所として介入前にどこまで対応するかという指針を含め、家族やケアマネへもきちんと説明、確認する必要があると思いました。

[事故報告]

- ・事故報告検討事例なし

[ヒヤリハット]

- ・ヒヤリハット報告検討事例なし

[今後の課題]

- ・「定額だからサービスをめいっぱい入れたい」「1日3回、朝夕30分、昼間1時間、夜間も対応してもらえますか？」というサービス内容に適応していない問い合わせをいただくことがあり、定期巡回のサービス内容をその都度説明をしております。

基本短時間での訪問（10分～20分未満）ですが、利用者のニーズによって掃除や買い物、入浴等、短時間では終わらない内容があり、それらに対応不可にしてしまうと、「利用者のニーズに合わない」「定期巡回では合わないから、それなら訪問介護のほうにしようかな」「介護度が上がると利用者負担も大きくなるし、他のサービスとの併用が難しいですね」というお話になります。普及していかないの、事業所で人員の確保ができていれば対応しているが、その場合の提案として、入浴などの介助はゆくゆくはデイサービスに移行していただくように説明をさせていただき、買い物は宅配を頼んでもらうようにするなどして、最初は時間の確保をさせていただいています。

その際はもっと明確に利用者、利用者家族、ケアマネージャーにもきちんと伝えていかないといけないと思っています。

「定期巡回の普及が進まないのはなぜか」という、訪問介護と定期巡回の違い、サービスの仕組み、活用方法の周知が必要になることを再認識し、人員の確保も含め今後も継続して課題となっていきます。

月に数回あるかないかの緊急時対応の場合、定期巡回の利用では利用料が高いと感じられてしまうのか、訪問介護での緊急時対応との違い、訪問回数や訪問時間、今後どのようにしていくのか利用者のニーズによって検討していきたいと思っています。

定期巡回という活動を知ってもらうために、資料 5 にもつけさせてもらってあるこのような事例があります。

定期巡回という活動を知ってもらうために、ケアマネージャーや利用者、利用者家族にも提案し活動していかないといけないと思いました。

現在訪問介護で入らせてもらっている利用者様で、夕方週 3 回オムツ交換のみでの訪問。他の日は奥様がオムツ交換をされています。

ご主人認知症もあり、奥様がしようとするとう動いていただけなかったり、拒否があり時間が掛かり、腰も痛くなってくるし、イライラもしてくるお困りの様子でヘルパーの回数を 1 回増やして 3 回になりました。

デイサービスから帰宅後玄関に座ったままヘルパー訪問まで座ってみえ、奥様が何度声を掛けても動かず怒ってくる時もあるようで、ヘルパー訪問後夜間オムツを外してしまったりと、奥様の介護負担が大きくなってきている。そういう利用者様に、定期巡回の提案、困った時にいつでも来てもらえる、相談できるという安心材料があれば、奥様の介護負担も少しは軽減するのかなと思っています。

既存の利用者様の中で、定期巡回の事をケアマネージャーやご家族にも提案し知ってもらうように活動しています。

こまち四日市介護・医療連携推進会議 議事録

開催日：令和5年10月12日木曜日 13：30～14：15

開催場所：ZOOMにて開催

ご出席：四日市市中包括支援センター 北畠様
マーベラス居宅介護支援事業所 森様
マーベラス居宅介護支援事業所 藤田様
マーベラス居宅介護支援事業所 加藤様
マーベラス居宅介護支援事業所 尾形様

【議題】

- ・定期巡回について（別紙資料参照）
- ・サービス提供状況報告（別紙資料参照）
- ・事故報告、ヒヤリハット報告（別紙資料参照）
- ・今後の課題（別紙資料参照）

【ご質問】

- ・訪問時の支援内容、週ごと、日ごとの訪問頻度をどのように決めてますか？
A. 事前の打ち合わせで利用者のニーズ、何が一番お困りの事なのかを確認して支援内容を決めていき、必要な訪問回数を決めて、状態の変化によってその都度検討させていただいています。

- ・サービス内容に適してない問い合わせとありますが、どのようなものがありますか？
A. 「定額だからめいっぱい使いたい」「1日3回、朝夕30分昼1時間、夜間も」というご相談がありました。
その都度ご説明させていただき検討させていただいています。
その方のニーズで必要であれば訪問させていただいています。

- ・一番多い回数で1日何回ぐらいの訪問になりますか？
A. 1日3回の朝昼夕の方が多いです。それプラス随時訪問になります。

- ・コールボタンはボタン1つで事業所のオペレーターに繋がるのですか？
A. はい。ボタン1つ押してもらおうと事業所に繋がるようになっています。

- ・定期巡回のサービスができた時、地域で長く住み続けていくためには絶対必要なサービスなのだと思いますが、思ったほど伸びていかない、事業所が増えていかない、都会の方が必要なサービスなのかな。
現在4か所四日市にあります。横のつながりはありますか？
A. 今現在はいいです。1か所は施設の中でされてるので交流はないです。
以前は会議等参加させていただいてましたが、コロナ禍で書面での開催になったため、現在交流はないです。

【ご意見】

- ・要介護3以上の重度の方を対象としたサービスと個人的に思っていた。要介護1、2、要支援の方が地域の有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅に入所される方がすごく多いように感じる。ここも定期巡回がうまく四日市で浸透していかない1つの課題なのかなと思う。安易に有料老人ホームへの入所をすぐに提案するのではなく、どうにか住み慣れた我が家、慣れ親しんだ地域で生活ができるように考えてはいるが、どうしても家族の要望とかも段々増えてきて変わってきたような感じはしている。

- ・使い方は使ってみないとわからない。
1度使ったことがあるのは、ご家族のニーズがあってそれにちょうどピッタリ合っていた。
訪問介護だと急に来てほしいとなるとやっぱり組んであるシフトもあるので、来てほしい時に上手くいかず「今日は無理です」という場合もでてくると思う。そうするとご家族の負担も増える。
でも定期巡回の場合、まずはそちらに連絡してすぐに返事がもらえる。
そういうことで安心していただいて負担も軽減できて本人様にもしっかりと対応してもらえる。
限度額の事もあるので、訪問介護だとこれ以上は入れないというケースだったけど、定期巡回に変えたことによって、本当に必要な回数入ることができた。
ケアマネ同士の繋がりの中でも、困ってる方の相談をする時があるので、その時に定期巡回はこうだよって使ってきた良さを伝えていけたらなと思ってます。

- ・20分未満の訪問と、掃除、買い物、入浴と全部を入れれると思っていたので、限度額の中でデイサービスや訪問入浴、福祉用具など入れてもギリギリいけるのかなというのが分かった。

•軽度の認知症の方で不安で不安でというような独居の方で、ご家族も遠方でという方はたくさんいると思う。

そういう方がちょっと不安な時に、オペレーターにも入ってもらって上手に負担を分け合うことができたらいと思う。

実際にケアマネに連絡があってもその時の状況が分からない時は返事をする
ことができない。いつも入ってもらってる定期巡回が判断してもらえるという
のは心強いと思うので、またそういった方に広がっていくといいかなと思いま
す。

貴重なご意見いただくことができお礼申し上げます。

次回令和6年3月開催予定